



燕市がこの先も活気あるまちであり続けるために！

問 第2次燕市総合計画では、人口減少対策として人口増戦略が大きく掲げられ、行財政運営を進めてこられたと認識ですが、歯止めを掛けられない状況のようです。

答 これまでの取り組みの評価・検証をしっかりと行って、特に定住人口増と、この人口増戦略の

問 さらなる強化に努めながら、私のリーダーシップのもと、多くの市民の皆様からご意見をいただきながら、よりよい改善策を見出していきたい。

答 状況を見極めながら、県に対して、要望することも考えていきたい。

第2次燕市総合計画と中ノ口川の洪水対策



堀 勝重 (新風みらい)



高齢者施策、災害時の備蓄品について



樋浦恵美 (公明党)



問 高齢者宅まで出向いてごみの収集を行っている自治体もあるが、燕市における高齢者のごみ出しの実態や、支援の状況について伺う。

答 「ごみ出しに関する困りごと」について、多くの方は「近所や近隣家族の支援により対応しているが、支援を受けることができない場合は、自治会やまちづくり協議会での支援のほか、地域包括支援センターや支え合い相談所などで対応している。ごみ出しなどの日常的な困りごととは、「近所や地域の支援が重要である」と認識していることから、生活支援に必要なサービスなどの情報発信に努めるとともに、地域の支え合い活動などの推進に取り組んで



近年、高齢者のごみ出し支援に取り組む自治体が増えています

問 乳児用液体ミルクが、昨年8月の法令改正により国内での製造販売が認められ、本年3月から販売が開始された。お湯の確保が難しい災害発生時でも、そのまま乳児に飲ませることができ、避難所での活用が期待される。災害用備蓄としての活用について伺う。

答 乳児用液体ミルクは、本年3月から国内2社が販売を開始し、災害時の備蓄品として注目されつつある。一方、粉ミルクより保存期間が半年から1年と短く、高額であるなど、課題も多いものと認識している。今後の普及状況などを注視していきたい。

一般質問

16名の議員が聞いた！



6月議会は16名の議員が質問に立ちました。全質問項目は下記のとおりです。(マーカーの項目は、本文に内容を掲載しています)

本文は、質問した議員本人が要約して執筆したものです

- No.1** **P.7 堀 勝重** 議員 (新風みらい)
 - 第2次燕市総合計画について
 - 安心安全なまちづくりについて
- No.2** **P.7 樋浦恵美** 議員 (公明党)
 - 高齢者施策について
 - 災害時の備蓄品について
- No.3** **P.8 大岩 勉** 議員 (新風みらい)
 - 市長の政治姿勢について
 - 燕市内のまちづくりと美観整備について
 - 学校教育について
- No.4** **P.8 柴山 唯** 議員 (チームつばめ)
 - 燕市の安心安全について
 - 道の駅国上のトイレについて
 - 大河津分水路改修事業における分水西部地区土地改良事業について
 - 燕市の市有地について
- No.5** **P.9 土田 昇** 議員 (日本共産党)
 - 高齢運転者の事故について
 - 市役所庁舎免震、制振オイルダンパーの対応について
 - 子どもの貧困対策について
 - 下水道問題について
- No.6** **P.9 田澤 信行** 議員 (新風みらい)
 - 教育現場のデジタル化について
- No.7** **P.10 渡邊広宣** 議員 (市民クラブ)
 - 市内企業の景気動向について
 - 県知事の財政「緊急事態」発言について
 - 人口減少対策について
- No.8** **P.10 柳川 隆** 議員 (市民クラブ)
 - 教育委員会行政について
- No.9** **P.11 中山真二** 議員 (新風みらい)
 - お金の使われ方について
 - 産業について
- No.10** **P.11 小林由明** 議員 (チームつばめ)
 - 移住定住促進の取り組みについて
 - 起業創業支援について
- No.11** **P.12 埴 豊** 議員 (大河の会)
 - 財政問題について
 - 産業問題について
 - 行財政改革と子育て支援の両立について
- No.12** **P.12 山崎雅男** 議員 (新風みらい)
 - 燕市各小学校で実施する宿泊体験学習について
 - 不登校児童・生徒の対応について
 - 若者・中高年の「ひきこもり」の実態把握と社会復帰に向けての支援について
- No.13** **P.13 宮路敏裕** 議員 (日本共産党)
 - 就学援助制度について
 - 個人情報の保護について
- No.14** **P.13 齋藤信行** 議員 (大河の会)
 - 市政について
 - 教育について
 - 島崎川の水質について
- No.15** **P.14 長井由喜雄** 議員 (日本共産党)
 - 会計年度任用職員への転換について
 - 幼児教育・保育「無償化」と保育行政について
- No.16** **P.14 タナカ・キン** 議員 (市民クラブ)
 - 選挙ポスター掲示場設置業務委託について
 - 清掃業務委託料について
 - 市の指定文化財について

QRコードから録画映像がご覧になれます♪



燕市民にとって基幹病院整備は極重要課題

問 中学生・高校生に市の産業、農業の現状、医師看護師不足の現状を話し、講義する機会を持つたかどうか。

答 産業振興に興味や関心を持つことは大切なことだと思います。今後、関係団体の方と協議を進めていく。

問 県央基幹病院の建設に対して県は見直し論を出しています。県立吉田病院は3年連続の赤字、魚沼基幹病院は病室の全面稼働ができず4年連続の赤字決算。市長は開院に向け、県央の代表として最大限の努力、行動をすべきではないか。

県立病院3年連続の赤字上位の3病院	
吉田病院	9億4千万円
加茂病院	7億2千万円
十日町病院	5億9千万円

答 県財政の悪化を背景に見直し議論がスタートしています



大岩 勉 (新風みらい)



が、命にかかわる重要な問題であり市民の代表として、県に対して計画どおりの開院に向け最大限訴えています。

問 市内道路のガードレール・フェンスなど損傷が多く見られるが、修理・修繕は行っているのか。

答 職員による現場確認、市民からの通報により確認し修繕対応策をしており、今後も適切に対応していきます。

問 運動部顧問で指導種目未経験者の応援に、教員OBに指導の協力要請をすべきでないか。

答 県の部活動指導員配置事業など限られた予算内ですが、積極的に活用していきます。

高齢運転者の免許証の自主返納について



土田 昇 (日本共産党)

問 4月19日に、東京池袋で3歳の女の子と31歳の母親が暴走してきた乗用車にはねられ、命を絶たれました。運転していたのは87歳の男性だったと新聞、テレビで大きく報道されました。

その後、妻と長女を亡くした夫は「瞬で未来は奪われてしまった」と発言し、「運転免許証を自主返納しやすい社会の実現に取り組んでほしい」と発言しました。

私達の燕市では、2018年は60歳から90歳代で、334名の方々が免許証の自主返納をしています。その方々にはタクシー券、さららん号、スワロー号の利用券を1万円以内で支援しています。

その点について今後の見通しと、その対応について伺います。

答 平成26年度の事業開始から昨年度までの推移を見ますと、返納者数は増加基調で推移しており、5年間の累計では1352人が利用されています。

返納を促す効果は一定程度あると考えています。他市町村での支援事業の見通しの動きなどを踏まえつつも、当面は現状のまま事業を推進していきたいと思えます。

運転免許返納



ミチカナ・モンダイヨ・ギインガ・キキマス

子どもの安心安全と今後の土地の利活用

問 燕市の保育施設での散歩について、どのような安全対策を講じているか。

答 市内の全園にて、散歩ルート周辺の緊急安全点検の実施をした。各園で詳細な散歩ルートマップを作成し、危険箇所の洗い出しを行い、必要であればルートの見直しも行った。今後も定期的な点検を行うしていく。

また、危険箇所として不鮮明な道路標示があり、横断歩道・側溝や水路の蓋・転落防止の柵の設置要望も寄せられている。警察や関係部署と連携し、改善の要望をしていく。



安心・安全な園児の散歩



柴山 唯 (チームつばめ)



問 公園などでトイレが新しくなった施設にはフィッティングボードが設置してあるが、なぜ道の駅上にはないのか。子どもの着替えのため、今後設置するのか。

答 道の駅は主に車を運転される方の休憩所という観点から設置しなかったが、利用者の声をよく検証しながら検討していきたい。

問 燕市建物系公共施設保有量適正化計画により、今後使われない建物・土地が増えるが、その利活用方法について伺う。

答 今後、統廃合の個別の実施計画を策定し、その中で跡地の利活用について織り込んでいけるよう取り組みたい。原則売却として、それが困難な場合は貸し付けを行うなど維持費のかからないようにしていく。

教育現場の変化について



田澤信行 (新風みらい)

問 「つばくろロボキッズ教室」の事業内容と狙いについて伺います。

答 「つばくろロボキッズ教室」は、学校におけるプログラミング教育と並行して、もっと学習したい児童を対象に開催しており、小型自律動作ロボットを用いて児童の論理的思考力を身につけさせることを目的としています。

問 2020年度から必修化される「プログラミング教育」の概要について伺います。

答 「プログラミング教育」の具体的な活動例については、文部科学省から図形の性質を学ぶための正五角形を描くプログラムや、画面上のキャラクターを自分の思いどおりに動かすプログラムなどが紹介されています。

問 電子黒板やタブレットなどICT機器を教育現場に導入していますが、その効果をどのように活用できるように準備を進めていますか。

答 市教育委員会では、3年生から6年生までの指導モデルを作成し、授業に活用できるように準備を進めています。



タブレットや電子黒板を活用した授業

知事の「緊急事態」発言。不測の備えは

問 5月7日、県の行財政改革有識者会議の冒頭で、花角知事が県財政状況を「緊急事態」だとの発言があった。今後、県央基幹病院問題を含め、不測の事態も予想される。市長の基本認識を伺う。

答 知事発言は、深刻化する県財政を再建すべく、抜本改革には県民に痛みを伴うかもしれないが、前向きに改革を進めたいというメッセージを感じる。私自身も市政を預かる立場から、燕市を未来の子ども達に健全な形で引き継ぐために公共施設の統廃合や使用料の見直しも避けられず、行政の効率化や生産



渡邊広宣 (市民クラブ)



地域住民が待望する県央基幹病院予定地

性向上の改革を着実に進めることがリーダーとして重要と考える。病院を含めた不測の事態に対しては、県民の生命に関わる問題は経済原則で結論を出すべきではなく、県の大きな飛躍につながる事業は未来への投資と捉え、県央基幹病院は、戦術論も含め、これまでの誠意ある議論のもと着実に遂行されることを強く主張していく。

問 人口減対策で国、地方の役割や責任のあり方の基本認識を伺う。

答 住民生活の根幹に関わる制度は、国や県が統一的にやるべきであり、各市町村は歴史や風土、自然を生かし、地域連携した魅力あるまちづくりの切磋琢磨することが大事だと考える。

お金への意識について



中山真二 (新風みらい)

問 ふるさと燕応援寄附金(ふるさと納税)は昨年度、16億8千万円という素晴らしい成績を上げた。10億円近いお礼の品物が販売され、6億円以上の真水の寄附金があった。一般に原価率3分の1といわれるメーカーにとって3倍で売れたことになり、経済効果は素晴らしいものと思う。ただこの制度におおぼろげに、この寄附金を一般財源化してはいけないし、別会計で扱うべきではないか。

答 厳しい財政状況の中、予算を編成する段階で不足する財源を補填し、事業の実効性を上げるために使っている。当初は一般財源だが、回り回って新規の事業に使っている認識を伺う。

問 一般の寄附はいただいた後に使い道を考えているのが現状だが、寄附をしたと考える方にとっては、寄附の事業を明確にして、例えば寄附メニューがあつて寄附を求める手法もありではないか。

答 燕市は比較的寄附文化が根付いている町と思う。基本的に寄附をいただくときに意向を聞いて

ているが、寄附金の使い方を明示しながらクラウドファンディング型の寄附募集に取り組み、ことも考の価値があると思う。

問 予算審査、獲得までは行政は丁寧だが、予算執行についてはおぼろげになっていると感じる。執行に対してもっと厳しくチェックしたらどうか。

答 総合計画に基づく施策を着実に推進するため、通年型予算編成の取り組みをしている。目標値を明確にし、事業によっては多年度にわたってPDCAサイクルを実施している。



匿名で寄附をいただいた石銘板

アスリート弁当と広域の図書利用について

問 アスリート弁当の、1年間の実績は目標の5分の1にも満たないが、目標ではなく、あくまで見込み、予想ということですか。

答 この事業は、初めての事業ということで、わかりやすさを前面に出させていただいたということとです。

問 市役所からの注文が総数で2996個中442個で断トツの2位。それもほとんど会議。これはおかしくないか。

答 地域内の経済循環を図るといった部分もあるので、ス



柳川 隆 (市民クラブ)



ポーツ選手に限らず、せっかく開発した弁当ですので、使っていただけのものであれば会議であろうと使っていたらばと考えている。

問 一般食堂が圧迫される、民業圧迫につながるのではないかと、私も強要はしていないし、選択肢を示させていただいているだけで民業圧迫には当たらないと認識している。

答 分析はしていないが、「新潟市の図書館は蔵書数も豊富だし、魅力的な本も本市と比べると若干多い」といったところが、一番大きな要因だと思っている。

起業創業と移住定住と地域力の発揮



小林由明 (チームつばめ)

問 移住定住の取り組みは、全国的には自治会など地域組織の自発的な取り組みが見られるようになっている。移住者の多い地域や移住者の活動が活発な地域、それらに関心ある地域などからモデル組織となつていただくなど、移住定住施策などについて、自治会やまちづくり協議会等との連携を進めてみてはいかがでしょうか。

答 移住された方々と地域の皆さんが、積極的に連携している状況を把握し、連携して移住定住施策を推進できるよう取り組んでいきたい。

問 起業創業も視野に入れ、移住定住先を検討している方をターゲットに、併用できるそれら支援制度をパッケージングするなど整理した上で、PRを行うてはいかがでしょうか。

答 起業支援と移住支援というものをセットにして取り組むというのは大切な視点であると思っております。



空き店舗や店舗内スペースなどの活用が始まっています。ぜひご登録を！

幼児教育無償化に伴う市の財政負担について



問 幼児教育無償化に伴う市町村の負担分は、公立の幼稚園保育園についてはその全額を、私立の場合はその4分の1を負担することになっていますが、来年度燕市の幼児教育無償化に伴う負担額については、また、交付税に見込まれている保育園運営費はどの程度かお聞きします。

答 来年度以降の影響額は、保育園・こども園・幼稚園の保護者負担分として、年間約2億6000万円の負担増と試算しています。また、交付税措置されている公立保育園運営費等については、国の示すモデルケースと比較した場合、燕市の場合4分の1にとどまると試算しています。

問 地場産業のまち「燕」において、事業承継と人手不足対策は最重要課題です。その対策についてお聞きします。

答 全国的に中小、小規模事業者の高齢化、後継者不足を背景に廃業が増加しており、燕市も例外ではなく、技術・経営資源を喪失させないためにも喫緊の課題です。



塙 豊 (大河の会)

人手不足対策については、地元高校への対策強化、外国人材受け入れなど幅広い視点から検討を進めています。



就学援助制度のいっそうの充実を



問 燕市では、子どもの貧困対策を重点と位置づけ就学援助制度を実施しているが、現状認識と周知の強化方針を伺う。

答 平成30年度で901人、15.3%の適用。該当する家庭が全て申請しているか把握はできないが、毎年1月下旬から全ての児童生徒の保護者にお知らせ版を配布している。「広報つばめ」やホームページ、婚活・婚活子育てまあるこ応援ワークショップ「つばめ子育てガイド」にも掲載。昨年度からは、市長部局としても市民課では世帯構成の変更の手続の際、社会福祉課でも生活困窮の相談を受けた際などに制度を紹介し、学校教育課につなげている。また、児童手当受給者が社会福祉課へ現況報告を提出する際にも紹介し、庁内横断的に連携を図っている。

問 文科省は本年度予算で要保護世帯の就学援助費の入学準備費を小学生で1万円増の5万6000円、中学生でも1万円増の5万7400円とする単価の引き上げを実施した。燕市の就学援助制度も国の改定に準じる検討はしているのか。また、卒業アルバム代は新規対象とするのか。

答 国の増額改定が示されたので、これまでと同様燕市でも検討している。卒業アルバム代の新設については、他自治体の動向を注視し調査研究する。



宮路敏裕 (日本共産党)

援助費目	説明
学用品費	ノート・筆記用具等
通学用品費	通学用靴・雨傘等
校外活動費	校外活動に必要な交通費・見学費
新入学児童生徒学用品費	ランドセル・制服等

就学援助費目の一部抜粋

宿泊体験学習の魅力と教育的意義について



問 自然体験や集団における役割行動や、仲間意識を育むことの助成り得る、市内小学校5年生対象の自然宿泊体験学習の取り組みについて伺う。

答 平成30年度市内小学校15校中14校で実施。国立妙高青少年自然の家等、全ての学校が1泊2日で実施。参加児童数は全員で686人。一人当たりの経費は約1万円前後となっている。

問 交通費やサポート体制の諸経費等を補助すべきと思うが、同じ宿泊体験先で、学校間で経費負担が約1万円の開きがあるが内容を伺う。

答 経費に関しては現状燕市内の学校が受益者負担であり、要保護家庭等については、活動に必要な交通費等が支給され貧困対策も取られている。体験先までのバス利用やカヌー体験活動等で開きがあり、保護者と学校との合意で決定している。

問 体験活動効果として、問題意識や探求心が生まれ、解決力や自然、友達との関わりにより、



山崎雅男 (新風みらい)

社会性や協調性を育成する。学校判断を尊重しつつも同じ条件で体験すべき。諸経費負担軽減を考えた場合、市内にも「ふれあい広場利用と田んぼアート」「交通公園内こどもの森」「産業史料館でのものづくり工房体験」「国上山での自然体験」等と適した場所があるが。

答 市内にも体験学習にふさわしい場所もあり、学校判断であるが、十分検討する余地はある。



市長のふれあいトーク・協議会との共同開催



問 市長のふれあいトークは、まちづくり協議会の総会などと同時に開催しているが、今までのような差があったか。

答 アンケートの状況を集計したところ、「長さはちょうどいい」が78%、「共同開催のほうが何度も集まらなくていい」「活発な意見交換ができる」など。昨年からは始めたまちづくり協議会総会との共同開催方式は、「昨年の状況から比較すれば、「効果はあった」と受けとめています。

問 開催の時間帯と平日、また夜、昼の差については。

答 基本的には時間に関係なく、質問がなくなるまで受け付けていたという認識です。7月に全てのまちづくり協議会の会長と事務局長を集めて意見交換する場を予定しており、その場でも意見を伺いたいと考えています。

問 新教育長に燕の教育について所信を伺う。

答 確かな学力を身につけさせることは大切なこと。その一方で、学校現場において、いじめや不登校の問題が喫緊の課題であり、学校現場と教育委員会が二層連携を図りながら、いじめや不登校の兆候を見逃すことがないように、しっかりと取り組んでいきます。そして、将来の燕市や新潟県を支える有為な人材に成長してほしいと願っています。



齋藤信行 (大河の会)



「保育の専門性」を 後退させてはならない



問 「保育の無償化」の一方で副食費が取られるが、私立園の事務負担感はどうか。行政としても援助が必要ではないか。

答 私立の園長会で不安の声は出ている。副食費はそれぞれで対応することになりシステム改修は非常に大きな負担となるだろう。可能な手伝いはしたいと考えている。

問 公立園での非正規職員数、無資格者などはどうか。

答 非常勤職員は265人で保育に携わる職員の63.4%を占める。このうち無資格者は108人で40.8%となる。

問 保育士は児童福祉法で「専門的知識及び技術をもって、児童の保育及び児童の保護者に対する保育に関する指導を行う」とを業とする者」と定義されているが、国家資格だ。専門の課程を履修して卒業するか、保育士資格試験に合格した者が「保育士」だ。現状についてどう思っているか。無資格者への研修はどうか。有給が無給か。また障がい児を1対1で見えることはあるのか。



長井由喜雄 (日本共産党)

答

人員確保が非常に難しく、国も有資格者3分の2以上の特例を設けている。子育て支援研修会の市開催を計画。指摘の「仕事時間」とするかは検討する。手帳等を持つ障がい児には無資格者が1対1で当たることはないが、気になる子どもの場合はある。



イッショニ・ツバメシノミライヨ・カンガエマセンカ?

文化財に対する破壊行為のイケメン官能絵巻



問

国上寺本堂壁面の「イケメン官能絵巻」について。国上寺は良寛様と深い関係を持つ越後最古の寺で、燕市の文化財にも指定されている。文化財保護法は文化財を保存し、その活用を図り、国民の文化的向上に資するための法律である。現状の変更などの際は、届け出を義務化し、保存のために必要な一定の行為を制限・禁止している。市は今回の件については許可をしているのか。

答

あの絵の設置については、現状変更の申請手続きをするよう口頭で何遍も言ったが、従ってもらえず6月14日付の行政指導の文書を出した。内容は、「6月28日までに現状変更の申請手続きをすること」「現状変更の許可の可否が出るまでの間は元の状態に戻すこと」の2点だが、まだ申請手続きもなければ現状も回復されていない状態である。

問

市の文化財調査審議会は何時ごろ開かれるか。

答

審議会は7月12日に開催を計画している。

問

あのような絵を子供たちに見せていいのか。

答

文化財にそぐわない絵であることという認識に立ち、住職に「現状に戻して下さい」という文書による指導を行っている。国上寺は社会学習のいい教材として子供たちが見に行く場所だが、本堂のほうには行かないように各学校には指示を出している。



タナカ・キン(市民クラブ)



良寛にヒザまくらをしよう呑香童子

